

危険な空き家、その対策は



質問者
飯田 一 議員

防犯上、防災上危険と思われる老朽化した空き家が多数存在しています。放置された老朽住宅の対応について、お伺いします。

- ① 現在の松田町における空き家の状況は。
- ② 空き家対策と活用方法は。
- ③ 今後の定住化施策と連動した空き家対策の考えは。



行政による空き家の取り壊しは難しい(イメージ)

A

自然環境や立地の良さを生かした空き家対策を進める!

回答 (町長)

① 全国の空き家は820万戸、松田町の一戸建て空き家は100戸程度あるが、「危険な空き家」としての正確な数字は持っていない。

② 松田町の空き家の

実態把握とデータベース化を進め、空き家の情報収集・自治会との連携・現地調査などから把握する。所有者の意思を確認し、財源や手法などを研究して、空き家対策に取り組みたい。

法案が通れば危険な空き家を「特定空き家」に指定し、市町村が家主に対して指導・助言できる権限が与えられるようになる。他の市町村の事例なども参考に、松田町の自然環境や交通の要衝という強みを併せて、空き家の有効活用などの対策を進めていく。

観光行政を問う



質問者
小澤 啓司 議員

少子高齢化や人口減少が続く中で、商店街の衰退は著しく、街中から活力が失われている。街に元気を取り戻すためには、新松田駅を起点とした観光客の誘致が重要です。次のことをお尋ねします。

- ① ポスト「桜まつり」として、最明寺史跡公園を売り出す考えはないか。桜の開花中、シャトルバスを運行することにより、多くの観光客を誘致できるのではないか。
- ② 寄地区の観光客受け入れ体制について
- ・「南みやまの里」の抜本的改革は検討されているか。
- ・「管理センター」施設

A

観光客誘致を積極的に推進する

回答 (町長)

として、宿泊や地場産業の展示スペース、農産物販売所などの機能充実を図る計画はあるか。

① 来年の桜の季節には、乗合型のジャンボタクシーを運行し、町内外の人たちが気楽に訪れることができるよう計画する。



最明寺史跡公園

② 「みやまの里」は、松田町が60%出資した民間会社だ。観光客誘致のために、新たな視点に立った経営改善が必要であり、改革を進めたい。「管理センター」は、自然休養村事業の一環として開館し、「みやまの里」が管理している。1階ロビーは、地場農産物の販売や観光客の休憩所になっているが、寄地区のアート工芸作品の展示場所としても活用できるように検討する。

農産物販売については、毎週土曜日に朝市が開催されている。館内販売の農産物と併せ、常設販売ができるよう対応したい。